

平成26年度一般会計当初予算296億7千万円を可決

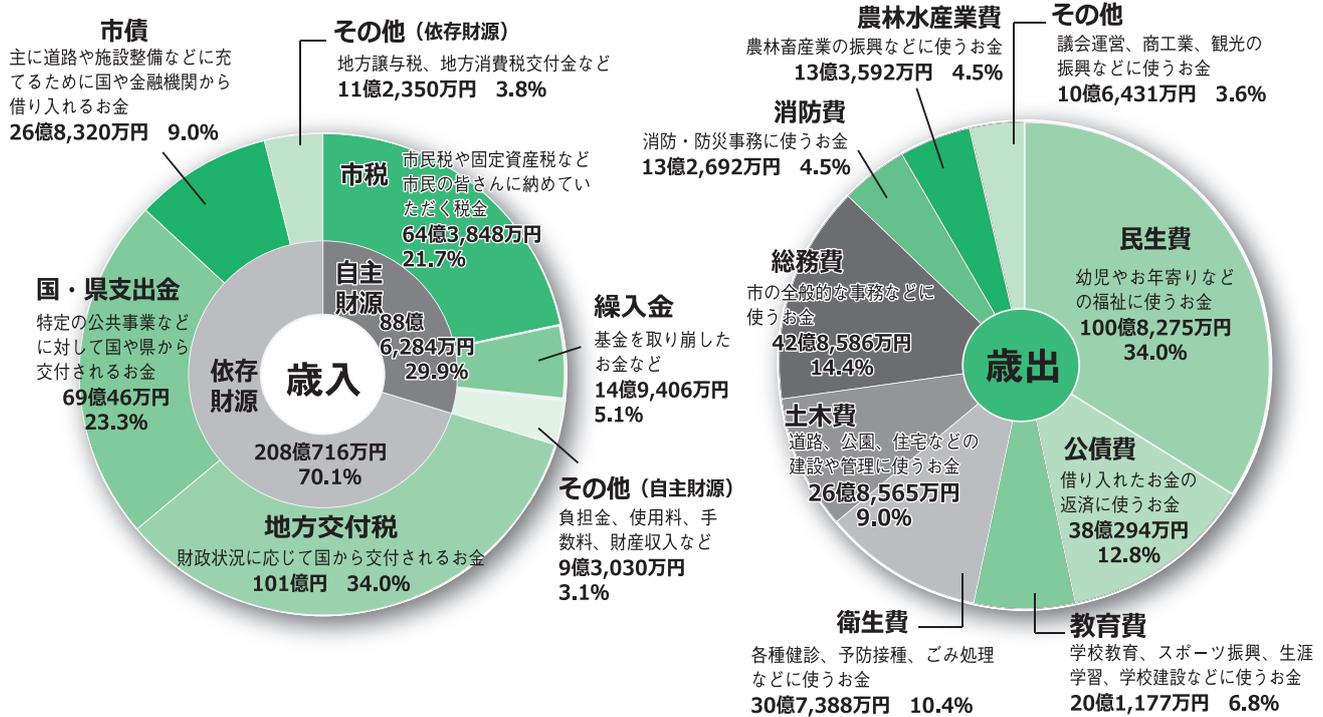
～安心・安全な暮らしを守る重要な施策、元気につながる取り組み、将来負担の軽減につながる取り組みに重点的に配分～

予算審査特別委員会

平成26年度の一般会計、特別会計、企業会計の各予算は、3月11日、12日、15日に開催された議員全員で構成される予算審査特別委員会の場で審議されました。主な質疑は次ページに掲載しています。

一般会計以外の予算については、広報とわだをご覧ください。

■一般会計当初予算296億7,000万円の内訳（1万円未満は四捨五入）



～市政に届いた市民の声～

皆様の代表である議員が、一般質問などで取り上げたことが実施されます

○焼山地区観光案内業務（ハコッコの継続設置）

事業の趣旨 平成25年度は試験的に実施しましたが、好評だったため平成26年度も引き続き実施し、観光案内業務、足湯設置、各種イベントを開催するもの

【議員は焼山地域の皆さまとの対話を通じ、ハコッコ継続の必要性を訴えました】

○ご当地ナンバープレート作成事業

事業の趣旨 市制施行10周年記念事業の一環として、原動機付自転車のオリジナルナンバープレートをつくる

【議員は活発化している市民活動などに大きな期待を寄せ、市を象徴する図柄を用いたナンバープレート作成の必要性を訴えました】

○「白上の湧水」、「沼袋の水」整備事業

事業の趣旨 トイレを水洗化する

【議員は利用者の利便性を考慮し、トイレ水洗化の必要性を訴えました】

この他にも、十和田バラ焼きゼミナールへの活動費補助をはじめ、農業振興、観光振興、子育て支援など、さまざまな事業に市民の声が反映されています。